



令和4年1月17日  
令和3年度学校だよりNO.42④  
加古川市立平荘小学校

## 書き初め会を行いました

1月11日から14日の間に、各クラスで、書き初め会を行いました。1・2年生は、教室で、硬筆の書き初めを行いました。3年生は教室で、4～6年生は、多目的室で、毛筆による書き初めを行いました。

### 《書き初めの由来》

書き初めは、平安時代の宮中における「吉書の奏（きっしょのそう）」という行事が始まりだそうです。この行事が、江戸時代になると、「おめでたい新年に書道（習字）をする」という行事となって、人々の間で広がりました。

江戸時代の書き初めは、年が明けて最初にくんだ井戸水（＝若水：わかみず）を神前に供えたあと、その若水を使って墨をすり、患方に向かって詩歌を書くというのが一般的だったそうです。

### 《書き初めはいつ行う？》

書き初めは、1月2日に行うのが、現在では一般的です。書道や茶道等、お稽古ごとは、「1月2日から習い始めると上達する」と言われ、この日を初稽古の日とする習い事が多いそうです。（1月1日の元旦の忙しい行事を終えて、あらためて2日に書き初めを行うそうです。）

### 《書き初めをする意味》

- ①『書の上達を願う』
- ②『一年の抱負を心新たにす』

### 《書き終わった書き初めは》

年神様が滞在する期間と言われる「松の内」（1月7日、または15日）が過ぎると、「左義長（さぎちょう）」と呼ばれるお祭りで、正月飾りなどとともに燃やします。「左義長（さぎちょう）」は、地域によっては、「どんど焼き」「さいと焼き」「とんど」「鬼火焚き」などと呼ばれています。

この時、炎が高く上がれば上がるほど字が上達すると言われています。

集中した状態で書き初め会を開催しました。



「書き初め」について話を聞いた後、正しい姿勢や筆の持ち方について確認しました。

新年、最初に書く習字です。子どもたちは、心を落ち着かせて、集中してから書き初めを始めました。



### 《字は心を表す》

字は、書いた人の心の状態を表します。急いでいる時には急いだ心の字に、落ち着いて一画一画丁寧に書いている時には丁寧に書こうと集中した（頑張った）心の字になって表れます。

この度の書き初め会では、一人一人が「丁寧な字を書きたい」と頑張っている心がよく表れています。



《書き初め会の様子より》

書く前に、みんなで心を落ち着かせますよ。その後、お手本をしっかりと見ながら書き初めを始めます。



お手本をよく見て、一生懸命に仕上げています。



書き初めが終わった後は、カットの色ぬりを頑張りました。

